将来にわたって活力ある長崎をめざして

長崎創生ロゴマーク

問い合わせ　長崎創生推進室（☎829-1355）

人口の減少は、長崎市が直面している大きな課題です・・・

人口減少に歯止めをかけるためには、産業界、教育機関、行政機関、金融機関、労働団体、メディア、市民のみなさんとの協働のもと、住みやすく魅力的なまちをめざすための取組みを進めることが重要です。

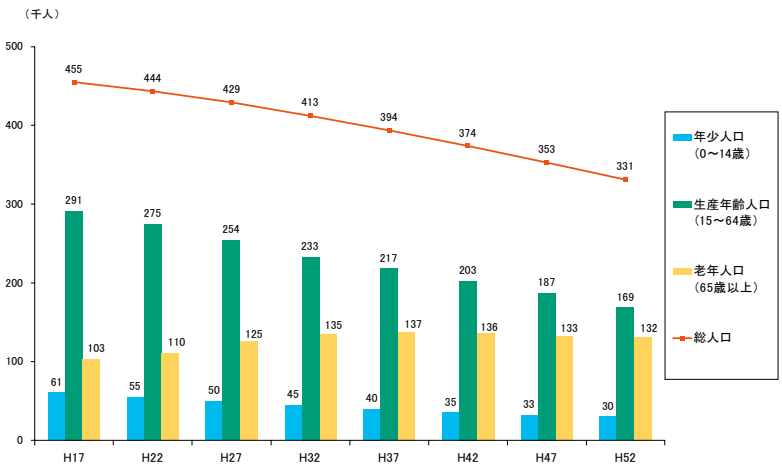
このため、昨年３月、人口減少の克服と長崎が成長するための処方せんとして「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在、オール長崎市で取組みを進めています。

みなさんと共有して総合戦略をさらに推進できるよう、総合戦略の概要、民間による取組事例を紹介します。

長崎市が直面している課題

長崎市の総人口は、平成22年から30年後の平成52年には、11.3万人減少（▲25.5％）して、33.1万人になり、また、総人口に占める年少人口割合は、約９％に減少する一方で、老年人口割合は、約40％にまで増加し、急速に少子化・高齢化が進行することが予測されています。

このことは、「消費が縮小する」「労働力人口の減少による地域経済の縮小」「地域コミュニティの機能の低下」などといった問題につながります。



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」
※総人口には、年齢不詳人口含む。

長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、産業界、教育機関、行政機関、金融機関、労働団体、メディア、市民のオール長崎市で、次の５本の柱で取組みを進めています。

「交流の産業化」による長崎創生

「人を呼ぶまち」から「人を呼んで栄えるまち」へという方向性を定め、長崎市が誇る有形・無形の地域資源に磨きをかけ、情報を国内外に発信して「人」の交流を生み出し、質の高いサービスを提供するための創業や既存事業の拡充を図り、定住人口の減少に伴う消費縮小を補うことで、雇用創出と所得向上につなげていきます。

取組み

顧客創造プロジェクト
外国人観光客、ＭＩＣＥ、富裕層観光客誘致に取り組むとともに、交流のエリアも拡大します。

価値創造プロジェクト
資源の磨き上げ、サービスの向上と創出、人材育成など、まちに新しい価値を生み出します。

交流を支える都市の基盤整備
新幹線開業に向けた長崎駅周辺の整備や、松が枝周辺での大型客船受入態勢整備などを行います。

交流の産業化を進める体制づくり
「観光地経営」の視点に立った「観光地域づくり」を行う体制を確立します。

経済を強くし、雇用をつくる

地場産業（造船・食）、農林水産などの長崎市の特性を生かした産業を強化するとともに、商業を中心としたサービス業も強化します。また、創業支援や企業誘致などにも取り組みます。

取組み

- ○地場産業（造船・食）の強化
- ○商業を中心としたサービス業への支援
- ○創業の支援
- ○農林水産業の活性化
- ○労働環境の改善
- ○中小企業の経営基盤の強化
- ○企業誘致の推進
- ○地元就職・定着に向けた取組

新しいひとの流れをつくる

長崎に移住するひとを応援するため、長崎で暮らすことの魅力を発信しながら、仕事や住まいなどの移住の受け皿となる相談体制の充実や情報発信を行っていきます。
また、若者の地元定着にも取り組みます。

取組み

- ○ＵＩＪターン者への雇用の確保
- ○住まいに関する支援
- ○農林水産業への就業促進
- ○長崎で学ぶ魅力の向上
- ○長崎で暮らす魅力の発信

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つまちをつくる

若い世代が安心して働ける雇用の場の確保による経済的な安定、結婚の希望をかなえるための出会いの場の創出、安心して妊娠・出産できる環境や子育てしやすい環境の充実に取り組みます。

取組み

- ○若い世代の経済的安定
- ○結婚、妊娠、出産の支援
- ○子育て環境の充実
- ○学校教育の充実

将来を見据えたまちの基盤としくみをつくる

地域の方々が自ら考え、行動し、「自分たちのまちは自分たちでよくする」ための仕組みづくりに取り組みます。
また、公共施設の見直しや近隣の自治体との連携など、時代の変化に対応した行政の仕組みの見直しを行います。

取組み

- ○ふるさと長崎を愛する心の醸成
- ○地域コミュニティの活性化
- ○コンパクトな都市づくりと周辺等の交通ネットワークの形成
- ○将来に向けた公共施設等の見直し
- ○広域連携の推進

長崎創生プロジェクト事業認定制度

民間の法人・団体が主役となって取り組む事業で、「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に適合する事業を「長崎創生プロジェクト事業」として認定し、広報や相談など、事業のレベルアップに向け積極的に支援しています。

現在（H29.2.9）までに認定している事業は次のとおりです。認定に関しては、長崎創生推進室（☎829-1355）までご相談ください。

第1号 DEJIMA博

㈱長崎国際テレビ

交流人口の拡大に資する食と遊をテーマにした大規模イベントとして毎年開催されている「DEJIMA博」において、地域資源の磨き上げを目的として、「長崎そっぷ」「出島復元」をPRするブースが設けられました。期間中、DEJIMA博には、県内外から10万3千人が来場し、「長崎そっぷ」「出島復元」も多くの方に発信できました。

今年はゴールデンウイークに開催予定

第2号 クラウドファンディング運営事業

FAAVO 長崎

インターネットを通じて多数の人に事業実施者のプロジェクトを宣伝し、資金提供者として賛同を得た方々から小口の資金提供を受ける仕組みを創設しました。地域資源を生かした新しいモノやサービスの開発などの支援につながります。
㈱connne、㈱長崎新聞社、㈱十八銀行がそれぞれの強みを生かして共同運営。これまで18件（H29.2.1現在）のプロジェクトを組成しています。あなたもこの仕組みを活用し、長崎創生にチャレンジしませんか。

FAAVO 長崎

第3号 1年生による長崎さるく体験

長崎女子短期大学

大学の基礎科目である「現代社会と女性」の授業の一環として、受講生（1年生全員）及び教職員が「長崎さるく」を体験することで長崎の歴史・文化等を学びました。当日は、学生、教職員合計200人が参加し、多くの長崎の魅力に触れることで、ふるさと長崎を愛する心の醸成につながりました。

第4号 伊王島TTバイクタイムトライアル大会

伊王島 TT 実行委員会

海に囲まれた自然や、車の交通量があまり多くない環境を生かして、自転車で走る時間を競う「伊王島 TT（タイムトライアル）」を新たに開催し、交流人口の拡大によって、地域の賑わいの創出が図られました。当日は、レース出場者、来場者合わせて、約1,000人が伊王島を訪れました。伊王島の新たな魅力として定着することが期待されます。

第5号 みんなでつながる“どいのくび祭”～防災フェスタ2016～

みんなでつながる“どいのくび祭”防災フェスタ2016実行委員会

地域の将来を見据え、地域の担い手の育成や地域コミュニティの活性化を目的として、オール土井首でまつりを企画し、実施されました。
当日は、絶好のまつり日和となり、来場者、スタッフ合わせて1,000人以上が参加し、大盛況。
まつりを通して、地域の気持ちがひとつになりました。

第6号 「モッテレ」事業 1ch　長崎引力

㈱テレビ長崎

長崎のまちの歴史が醸し出す雰囲気、おいしい食べ物など、幅広い年代を引き付ける長崎のまちの魅力を世界へ発信するため、動画で紹介するポータルサイトが創設されました。中には、SNS での再生回数が16万回を超えた動画もあります。
映像制作という放送局ならではの取り組みであり、得意分野を生かした事業です。

モッテレ

みなさんの新たな取り組みをお待ちしています。詳しくは、長崎創生推進室（☎829-1355）へ。

交流の産業化応援補助金

民間の法人・団体が取り組む交流の産業化に資する事業に対して、補助金を交付し、そのチャレンジを応援しています。平成28年度は、以下の取り組みを応援しました。

アクティブラーニング型修学旅行のためのＡＲアプリ開発事業

㈱JTB九州長崎支店
長崎大学

㈱JTB九州長崎支店と長崎大学が共同でアクティブラーニング型修学旅行に使用するARアプリ(拡張現実アプリケーション)を開発し、このアプリを使って、学生が修学旅行生等のコーチをしながら一緒にフィールドワークやワークショップなどを行い、分かり易く、そして思い出に残る修学旅行を展開します。

古写真と携帯アプリを用いた観光周遊コースの開発

長崎外国語大学

長崎市における観光事業を活性化するために、メモリー・ハンティングの携帯アプリを用いて、長崎の観光コースを周回・周遊させるゲーム性のあるコースを開発しました。
コースは、「諏訪神社」と「居留地界隈」で、アプリは、GooglePlay から「長崎古写真メモリアルアプリ（通称：長崎古写真アプリ)」で検索してダウンロードできます。

※メモリーハンティング…過去の写真を撮りこんだスマートフォンで、その写真の現在の撮影場所を探し、今の写真を撮影してリンクさせるもの。

「まちなかから見上げる新たな夜景スポット」の創設による夜景の魅力アップ事業

㈱長崎出島ワーフ
出島ワーフ会

出島ワーフに稲佐山電波塔イルミネーションと同期した音響設備を導入し、音楽と光が連動した新たな長崎の夜景を演出するとともに、観光客や市民への情報発信と音楽イベントや食のイベントを開催しました。
「クスノキ」を中心に福山雅治さんが特別監修した楽曲メドレーを放送中。

外海潜伏キリシタン文化資料館開設

外海文化愛好会

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録に向けて、空き家を活用して、外海地区での250年にわたる潜伏キリシタンの活動内容を実物展示及びパネル、年表等によって紹介し、地元からの登録に向けての活動を盛り上げ、交流人口の拡大につなげる取組みです。

場　所＝カトリック黒崎教会下
開館日＝土・日・祝日
※平日は、予約により開館
問＝松川（090-2713-5259）

Another　Nagasaki ～長崎の文化を体験し継承する～

㈱connne、長崎大学、長崎留学生支援センター

長崎の伝統的な文化や技術、そしてその背景にあるストーリーを観光客（外国人、国内富裕層）に体験してもらうため、webサイトを活用した仕組みを構築しました。

MEIJIN GO! in NAGASAKI